

# 中核市サミット

2024 in  
秋田

これからをつくる、これからを生きる  
〜中核市が創る「ひと・まち・くらし」の未来〜

2024.10.31 [THU]

主催 中核市市長会  
開催市 秋田市  
後援 秋田県・全国市長会・全国市議会議長会・中核市議会議長会

【お問い合わせ】

中核市市長会秋田市サミット開催事務局（秋田市企画財政部企画調整課内）  
TEL.018-888-5462 FAX.018-888-5488  
E-mail ro-plmn@city.akita.lg.jp

あきた芸術劇場 ミルハス

秋田県秋田市千秋明德町2-52

Schedule 12:50 オープニング  
13:00 開会式  
13:35〜 基調講演 「(仮)カーボンニュートラルと地域振興」  
14:50〜 パネルディスカッション  
第1会場 「再生可能エネルギーが創るまちの未来」  
第2会場 「芸術文化が創るまちの未来」  
16:25〜 全体会議・閉会式



## これからをつくる、これからを生きる ～ 中核市が創る「ひと・まち・暮らし」の未来 ～

中核市は、平成8年に12市が移行して以来、地域の中核都市として、また市民にもっとも身近な基礎自治体として、地方分権の推進と地域の発展に大きな役割を果たしてきました。中核市制度発足から四半世紀を経て、全国の中核市は62市まで拡大し、その人口は約2,249万人となるなど、我が国における存在と責任はより一層高まっています。

近年は、人口減少・少子高齢化の著しい進行はもとより、世界的な異常気象やウクライナ情勢等による食料・エネルギー価格の高騰に起因する歴史的な物価高が市民生活に大きな影響を及ぼしており、社会の不確実性は今後ますます増大していくことが予想されます。

コロナ禍の下、各地でパンデミックを生き抜くための様々なイノベーションが

生まれたように、世界はテクノロジーの創造や文化の力により、新たな「生きる力」を得ることで、幾多の困難を乗り越えてきました。地域の核となる中核市においては、将来にわたって持続可能なまちづくりに向けて、長く受け継がれてきた文化や歴史といった地域固有の資源に光を当て、まちの個性をつくり、これからを力強く生きていくことが求められています。

中核市サミット2024 in 秋田では、「再生可能エネルギーが創るまちの未来」と「芸術文化が創るまちの未来」について、中核市の市長が一堂に会して議論を深め、その方策を全国に発信することで、中核市が創る「ひと・まち・暮らし」の未来へとつなげてまいります。

12:50  
13:00  
13:30

オープニング 〈 エレクトロニコス・ファンタスティコス! 秋田Orchest-Labによる演奏披露 〉  
開会式  
開会式終了時刻

13:35

### 基調講演 **テーマ** (仮) カーボンニュートラルと地域振興



**荒川 忠一** 氏  
東京大学名誉教授  
世界風力エネルギー学会 副会長

1951年、宮城県生まれ。東京大学大学院工学系研究科機械工学専攻博士課程修了。工学博士。東京大学助教授、ドイツ・カールスルーエ大学客員研究員、東京大学教授を経て、2017年より東京大学名誉教授として活動している。また、同年から名古屋大学大学院環境学研究科客員教授、2018年、京都大学大学院経済学研究科特任教授なども務め、現在に至る。

風力発電の工学分野から長年研究を行う一方、洋上風力発電と地域との共発展を目指したステークホルダーマネジメントや、政府へ電力ロードマップの提唱などを行う。日本における風力発電を中心とした再生可能エネルギーの導入促進と成長を目指し、さまざまな提案と実践を関係者とともに進めている。

講師

14:35

14:50

### パネルディスカッション

第1会場



コーディネーター

**佐藤 裕之** 氏  
(株)ウェンティ・ジャパン  
代表取締役社長



コメンテーター

**荒川 忠一** 氏  
東京大学名誉教授  
世界風力エネルギー学会 副会長

テーマ

#### 再生可能エネルギーが創るまちの未来

パネリスト / 中核市長3名

2023年に開催された「第28回気候変動枠組条約締約国会議(COP28)」において、2030年までに世界の再生可能エネルギー容量を3倍とする目標が掲げられました。気候変動対策は欧州各国が先導する状況にありますが、近年は、我が国においても、政府が取り組む再エネの主力電源化や脱炭素に向けた民間セクターの動きが活発化しています。

こうした中、地方自治体においては、ゼロカーボンシティの実現に取り組むとともに、再エネの地産地消を進め、新たな産業や雇用の創出など経済の活性化を図ることが期待され、中核市は地域において主導的な役割を担うことが求められています。

本パネルディスカッションでは、官民で脱炭素社会を目指す中、経済と環境の好循環をいかに実現させるのか、また、地元の理解促進や地域共生の取組など、中核市の事例発表を踏まえて「再生可能エネルギーが創るまちの未来」について議論を深めます。

16:10

全体会議・閉会式  
閉会式終了時刻

16:25  
17:00

第2会場



コーディネーター

**藤 浩志** 氏  
秋田公立美術大学  
美術学部 教授



コメンテーター

**平田 オリザ** 氏  
芸術文化観光専門職大学  
学長

テーマ

#### 芸術文化が創るまちの未来

パネリスト / 中核市長3名

我が国には地域ごとに多様な芸術文化が存在しています。地域ごとの特色を生かした芸術文化活動は、地域の観光振興や経済活性化等に寄与するほか、人々の心の豊かさやコミュニティの醸成につながるものであり、自治を支える基盤とも言えます。

こうした中、地方自治体においては、地域の歴史や文化を生かした芸術文化政策の推進を通じて、地域資源を掘り下げ、市民とともにまちの魅力や価値(文化)の再発見と創造に取り組む必要があり、とりわけ中核市は、地域の核としてその中心的な役割を担うことが求められています。

本パネルディスカッションでは、芸術文化の振興がいかに市民生活の向上に寄与するのか、また、芸術文化を生かした個性あるまちづくりなど、中核市の事例発表を踏まえて「芸術文化が創るまちの未来」について議論を深めます。